

RCIJ 認定資格案内

危機を好転する コミュニケーションを学ぶ

基本的な要素を抑えることを目的とした、未経験者でも受講可能な「RC技能認定第1種」と、2年以上の実務経験を踏まえて、外部に有償でアドバイスできる知識を習得できる「認定RCアドバイザー」、5年以上の実務経験を踏まえて、RCIJの資格認定のプログラムにて、講師を務めることが可能なレベルの知識及び実践を習得できる「認定RCエキスパート」の3つの階層による認定資格講座になっています。

認定資格の種別



RC技能検定第一種

RCに必要な基本的な要素を抑えることを目的とする。未経験者でも取得可能



認定RCアドバイザー

「RC技能認定第一種」の保持者及び2年以上の実務経験を有する者が対象。外部に有償でアドバイスできる知識を習得することが可能



認定RCエキスパート

RC領域にて5年以上の実務経験を踏まえて、包括的なRC力を有しRCIJの資格認定のプログラムにて、講師を務めることが可能なレベルの知識及び実践を習得することが可能



一般社団法人
日本リスクコミュニケーション協会
Risk Communication Institute of JAPAN

現代の経営にリスクコミュニケーションが欠かせなくなった背景とは？

些細なことが引き金となる「炎上」社会。
求められるのはテイクリスクできる人材。

不透明な環境下でのかじ取りが迫られる中、均一的な価値観や視点しか持たない経営陣では、リスクが高まり、危機管理能力も低下します。これからの企業活動には、リスクコントロールなどのテイクリスクが必要不可欠です。現代のビジネスにおける「スペシャリストの時代」が幕開けとなった社会背景の中、RCスキルを持った人材の需要が高まっています。



リスクコミュニケーションとは？

“ 有事の際に、内外のステイクホルダーと適切なコミュニケーションを図ること。 ”
これを迅速に進めるため、平時より準備を進めること。

RCの力で社員のエンゲージメントが高まり、組織力が強化

企業統治に不可欠なリスクマネジメント、コンプライアンス、危機管理、ソーシャルメディア対策、事業継続計画、プロジェクトマネジメントの知識をもったリスクコミュニケーターが社内にいれば、組織力が強くなり、社員のエンゲージメントが高まります。

リスクコミュニケーター/RCの役割とは？

RCの力で社員のエンゲージメントが高まり、組織力が強化



RCのスキルがあれば組織を守り強くする

《 平時 》

経営に関する各専門分野の知識を広く習得し、
事前準備とマネジメントを行う

- 時代の流れを敏感に察知し、リスクのトレンドや傾向を把握
- 顧客との双方向のコミュニケーションを図る
- 緊急時チーム構築、対応マニュアル作成のスキルを習得
- 交渉術のスキルを習得
- BCP(事業継続計画)やBCM(事業継続管理)の理解
- 社内連携部署とのコミュニケーションと信頼関係構築
- 専門家チームとネットワーク構築
- 有事の際の対応イメージトレーニングを行う

《 有事 》

タイムマネジメントを意識しながら対応し、各ステーク
ホルダーに対して適切なコミュニケーションをとる

- BCP発動判断のサポート
- 組織を俯瞰して情報の中心に立ち、専門家らとの連携
- 内部での情報収集と意思決定、外部への情報発信
- 緊急記者会見の開催
- 危機管理広報の実施
- 専門家とエキスパートの活用

講座の特徴

未経験から最高の学習効率でRCスキルを習得



全ての授業が
フルオンラインで受講



第一線で活躍する
講師陣



ファシリテーター+講師&
双方向形式の授業だから
わかりやすく学べる



短期集中スタイルで
結果が出る



未経験からでもRCの
専門知識が身に付く



気軽に講師に質問
できるから挫折しない

資格取得のメリット

- 個人や、在籍する団体の評価向上につながる
- これからの時代に不可欠なRCスキルを、フルオンラインで完結する学習環境で学ぶことができる
- 最先端のRCスキルを身につけて、重宝される人材になることができる
- RCスキルを駆使し、組織の課題解決ができるようになる
- 交流会で技能のレベルアップが図れる

講師陣 国内外の前線で活躍する危機管理のトップランナーが集う



大杉 春子

レイザー株式会社 代表取締役
危機管理広報コーチング

2020年日本リスクコミュニケーション協会代表理事就任。昨今の広報における危機管理のニーズをうけて、危機管理広報トレーニングプログラム「KIKI(キキ)」を企業に導入し、チームビルドとコーチングを行う。



小川 義龍

小川総合法律事務所所長
弁護士

早稲田大学法学部卒業。日弁連代議員・東京弁護士会常議員、広報室嘱託、広報委員会・非弁護士取締役委員会各副委員長など歴任。サイボウズ株式会社監査役。企業顧問として危機管理・コンプライアンス管理等を指導。



木村 恭子

日本経済新聞社
編集委員

筑波大学大学院カウンセリング修士号取得。米ブルームバーグニュースなどで記者として首相官邸、外務省、財務省、経団連などを担当。早稲田大学大学院非常勤講師など歴任。BSテレ東「日経プラス10」解説キャスターを務める。



昆 正和

事業継続研究家
BCP/BCM策定・運用アドバイザー

東京都立大学経済学部卒業。ソフトウェア開発会社等で長年にわたって経営企画・マーケティング業務を経験。米国同時多発テロをきっかけに事業継続計画の構築・運用方法やリスク管理のあり方について独自に調査・研究を進めている。



白井 邦芳

危機管理コンサルタント
一般財団法人リスクマネジメント協会顧問

ゼウス・コンサルティング(株)代表取締役。早稲田大学教育学部卒業後、A I U保険会社に入社。2009年A C Eコンサルティング(株)エグゼクティブ・アドバイザーに就任。危機管理、内部統制、事業継続、企業再生など幅広い分野で活躍。社会情報大学院大学教授。



豊田 健一

『月刊総務』編集長
株式会社月刊総務 代表取締役社長

早稲田大学政治経済学部卒業。リクルートなどを経て現職。一般社団法人ファシリティ・オフィスサービス・コンソーシアム(FOSC)副代表理事や、All About「総務人事、社内コミュニケーションガイド」も務める。著書に「マンガでやさしくわかる総務の仕事」、「経営を強くする戦略総務」など。



永岡 英則

株式会社CARTA HOLDINGS
取締役CFO

一橋大学商学部卒業。(株)アクシブドットコム(現CARTA HOLDINGS)の創業期に参画後、CFOとしてサイバーエージェントの資本参加、MBO、東証上場、資本政策全般を担う。(株)ECナビベンチャーズ(現VOYAGE VENTURES)を設立し、代表取締役に就任。



細窪 政

グレートアジアキャピタル&コンサル
ティング合同会社(GACC)代表社員

慶應義塾大学卒業。信託銀行を経て、日本アセアン投資(現日本アジア投資、東証1部)入社。2012年代表取締役社長に就任。2017年にGACCを設立。経営者向けコンサルティング事業を行ないながら、上場企業3社・未上場企業2社の社外取締役・社外監査役を務める。



山口 真一

経済学者 国際大学准教授
東京大学 客員連携研究員

2015年に慶應義塾大学にて博士号取得し、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)助教などを経て現職。専門は計量経済学。ネットメディア論、ネットビジネス、プラットフォーム戦略などを主に研究する。IT企業や研究機関のアドバイザーも務める。



岡田直子

RCIJ 副代表理事
株式会社ネットワークコミュニケーションズ代表取締役

企業内広報を得て独立。ベンチャーから上場企業、外資系企業まで幅広い分野の広報コンサルティングと実務サポートを実施。コーポレートコミュニケーションを得意とする。グローバルカンパニーの実績多数。国際PR協会(IPRA)会員。

日本が世界一の危機管理先進国になる環境を創る

私たちRCIJは、日本が世界一の危機管理先進国になる環境を目指して、「リスクコミュニケーションのエキスパート」の育成・輩出に取り組んでいます。



教育事業



認定資格

コミュニティの
形成運用

名称：一般社団法人 日本リスクコミュニケーション協会(略称:RCIJ)

英名：Risk Communication Institute of Japan

設立：2020年7月6日

所在地：東京都台東区雷門2-6-1 雷門ミハマビル 3F

URL：rcij.org

・ RCIJの会員制度について ・

共有して、協力して、強くなる。協会ならではの特典も魅力です。

日本リスクコミュニケーション協会(RCIJ)では、RCについて体系的に学び、RCのプロフェッショナルを生み出す環境を創り出すことで、企業、行政、政治家等、他様々な組織のRC力の底上げに寄与してまいります。加えて実践プロセスを通じて、資格保持者一人ひとりが所属する企業、組織、団体の危機対応に対応できる能力を身につけることを目指します。日本が危機管理先進国になることを目指すには、リスクおよびクライシスマネジメントに携わる多くの皆様と相互にレベルアップする環境を創り、成功体験を積み上げることを繰り返すことが重要です。共に学びながら、日本社会全体の危機管理能力向上を目指しましょう。

会員のメリット



講座10%オフ

認定講座の提供：認定講座を提供し、資格の付与の実施。会員様は、10%OFFで受講することが可能です。以下4つの認定講座(オンライン)の展開と資格取得を可能にする予定です。



セミナー割引

RCイベント・セミナーの展開：オンライン、オフラインのどちらかの手法で年に数回、公開・非公開のイベント・セミナーを開催してまいります。一部を除き、会員様には割引価格にて提供を予定しております。



オン/オフコミュニティへの参加

RCに関する交流会、分科会、コミュニティの設置：オンライン、もしくはオフラインで会員同士が交流する場を設けてまいります。

入会にあたって

法人会員制度 — 当協会の趣旨に賛同される法人 —

入会金	10,000円
年会費	大企業法人会員 100,000円 一般法人会員 50,000円

※毎年9月1日を起点としています。入会月により割引制度あり。
※大企業の定義は「中小企業基本法」で定められている中小企業の条件を参考にしています。

個人会員制度

当協会の趣旨に賛同し、現役、OB問わず、RC関連領域に関心を有するすべての個人様(学識者、メディア関係者、医療関係者、政治家、広報・PRパーソン、経営管理部門、人事、総務、労務、行政担当、議員秘書など、幅広い業務に携わる方々を歓迎します。)

入会金	10,000円
年会費	個人会員 10,000円 学生会員 3,000円

※入会金、年会費は非課税です

お問い合わせ



一般社団法人
日本リスクコミュニケーション協会
Risk Communication Institute of JAPAN

〒111-0034 東京都台東区雷門2-6-1 雷門ミハマビル 3F
[お問合せ専用] contact@rcij.org

